

2005年度 (平成18年3月期) 決算説明会資料

住友金属鉱山株式会社

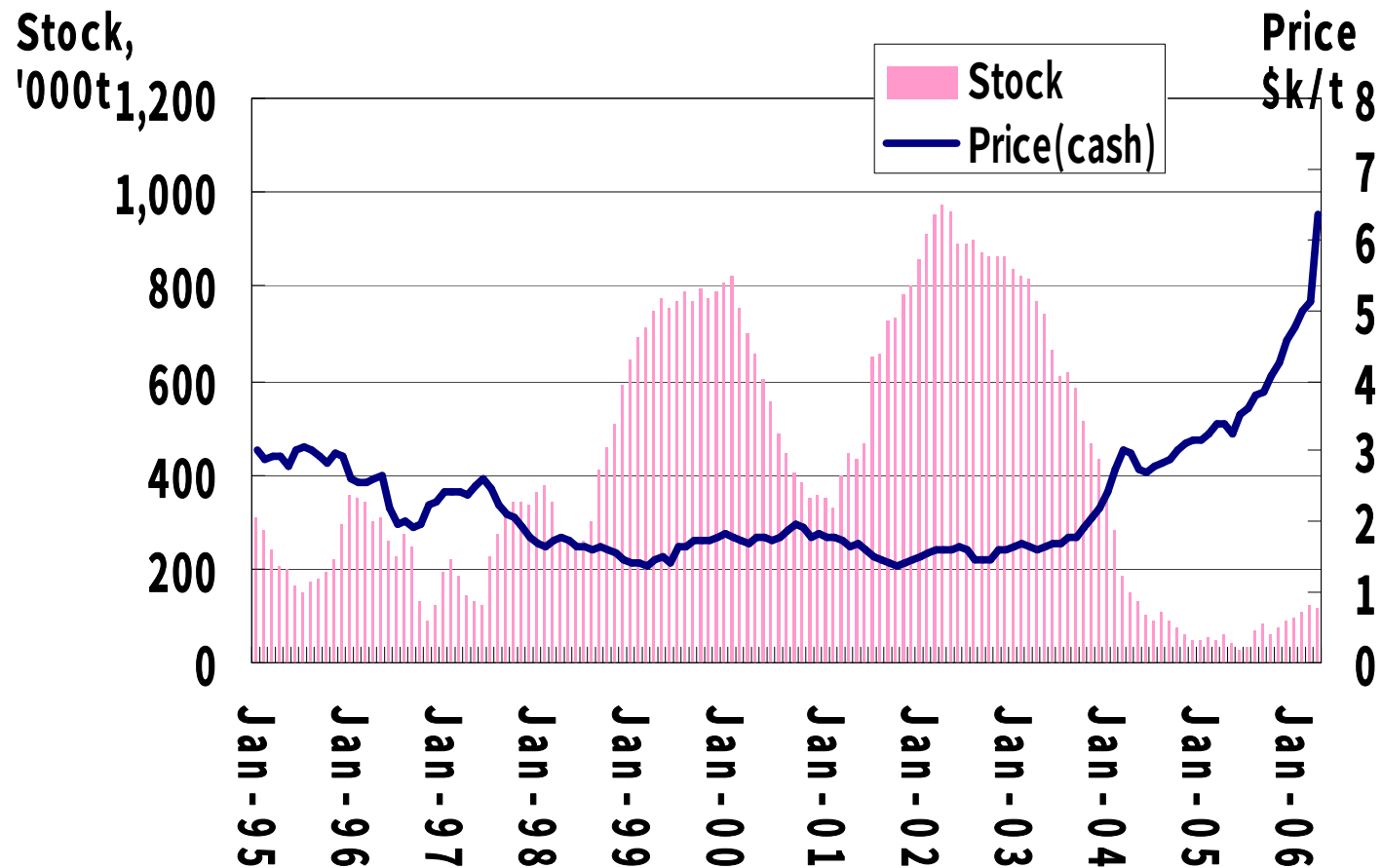
2006年5月16日

目 次

ページ	項 目
3	I . 価格・為替推移
9	II . 業績推移
12	III . FY05 vs 04
19	IV . 戦略進捗状況
37	V . FY06予想 vs 05
43	VI . その他

I . 價格、為替推移

I -1. 銅価格・在庫推移 (Copper LME Price, Stock)



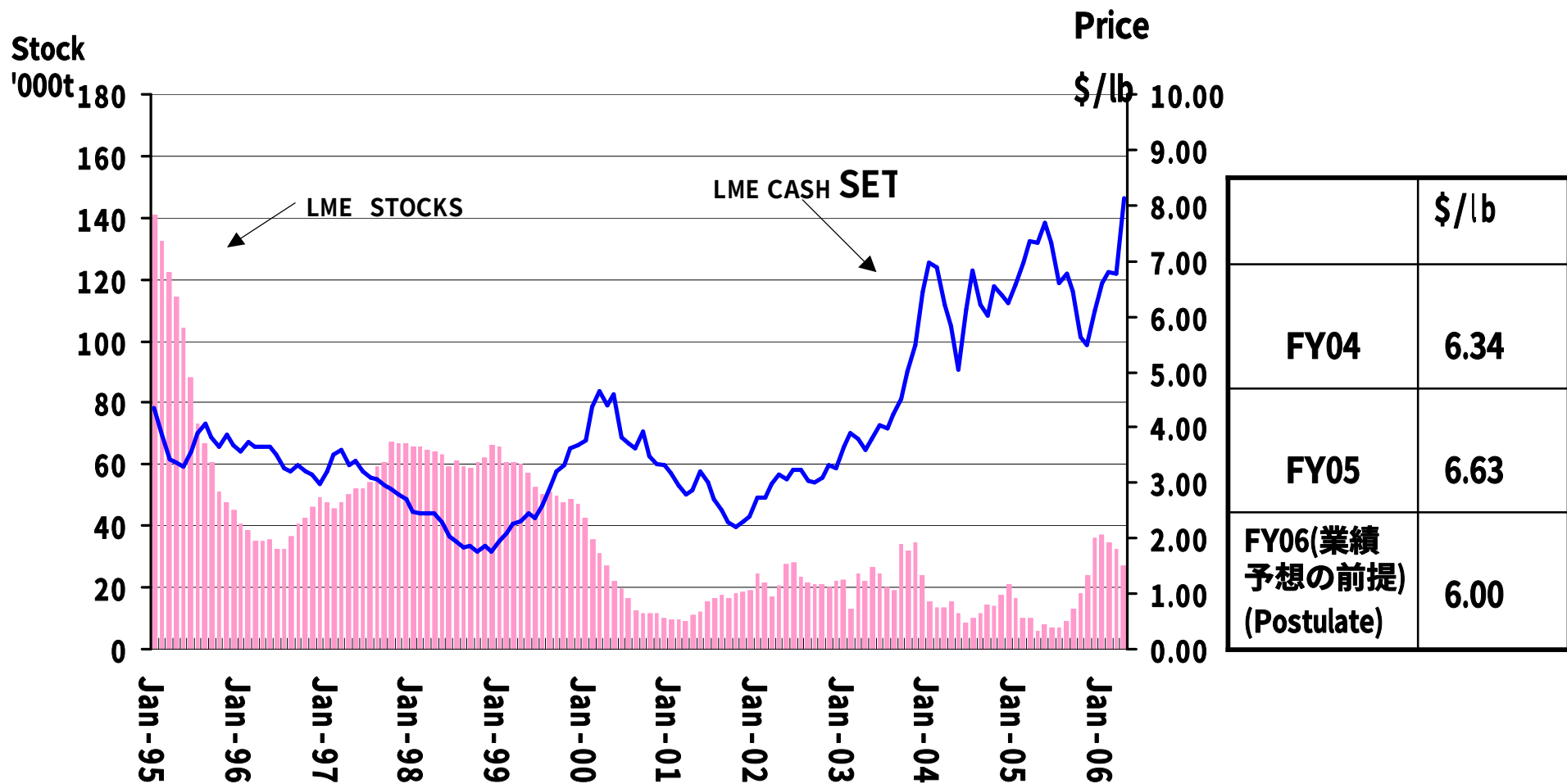
	\$/t (¢ /lb)
FY04	3,000 (136.1)
FY05	4,100 (185.8)
FY06(業績予想の前提) (Postulate)	4000 (181.4)

FY06

1H 4,600 (208.6)

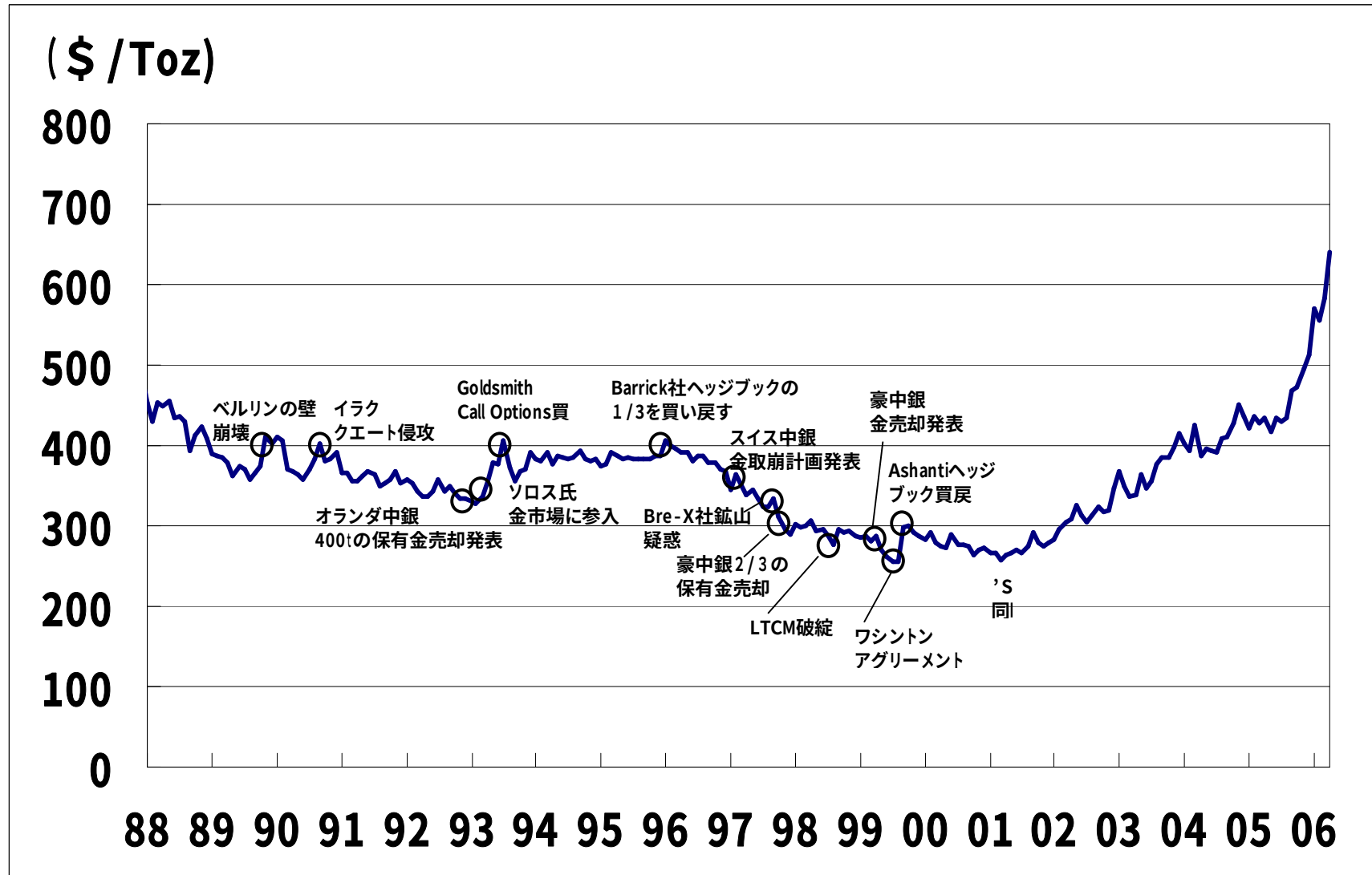
2H 3,400 (154.2)

I-2. ニッケル価格・在庫推移 (Nickel LME Price, Stock)

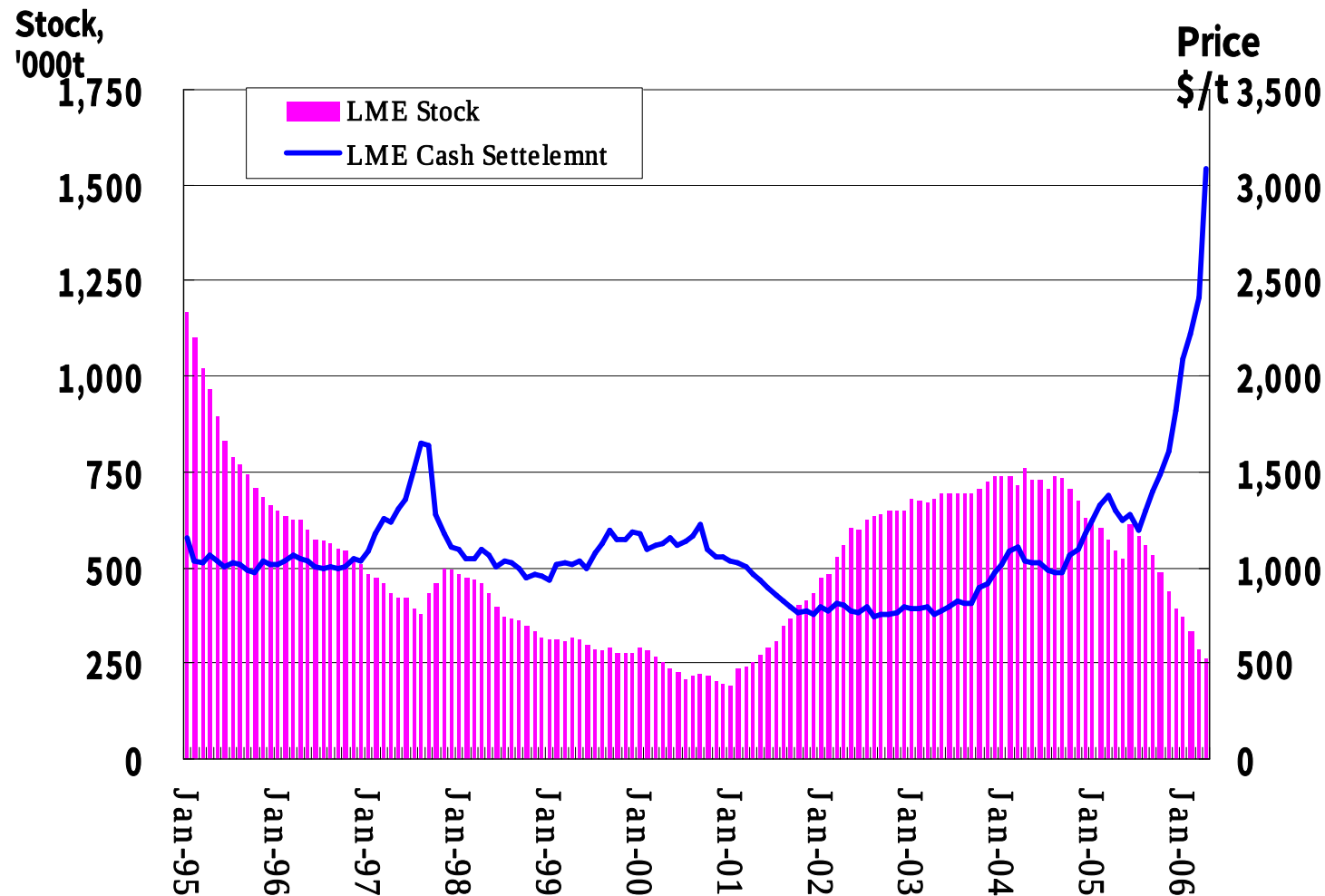


I -3. 金価格推移 (Gold Price)

	FY04	FY05	FY06予想前提 (Postulate)
\$/toz	414.00	476.6	530.00



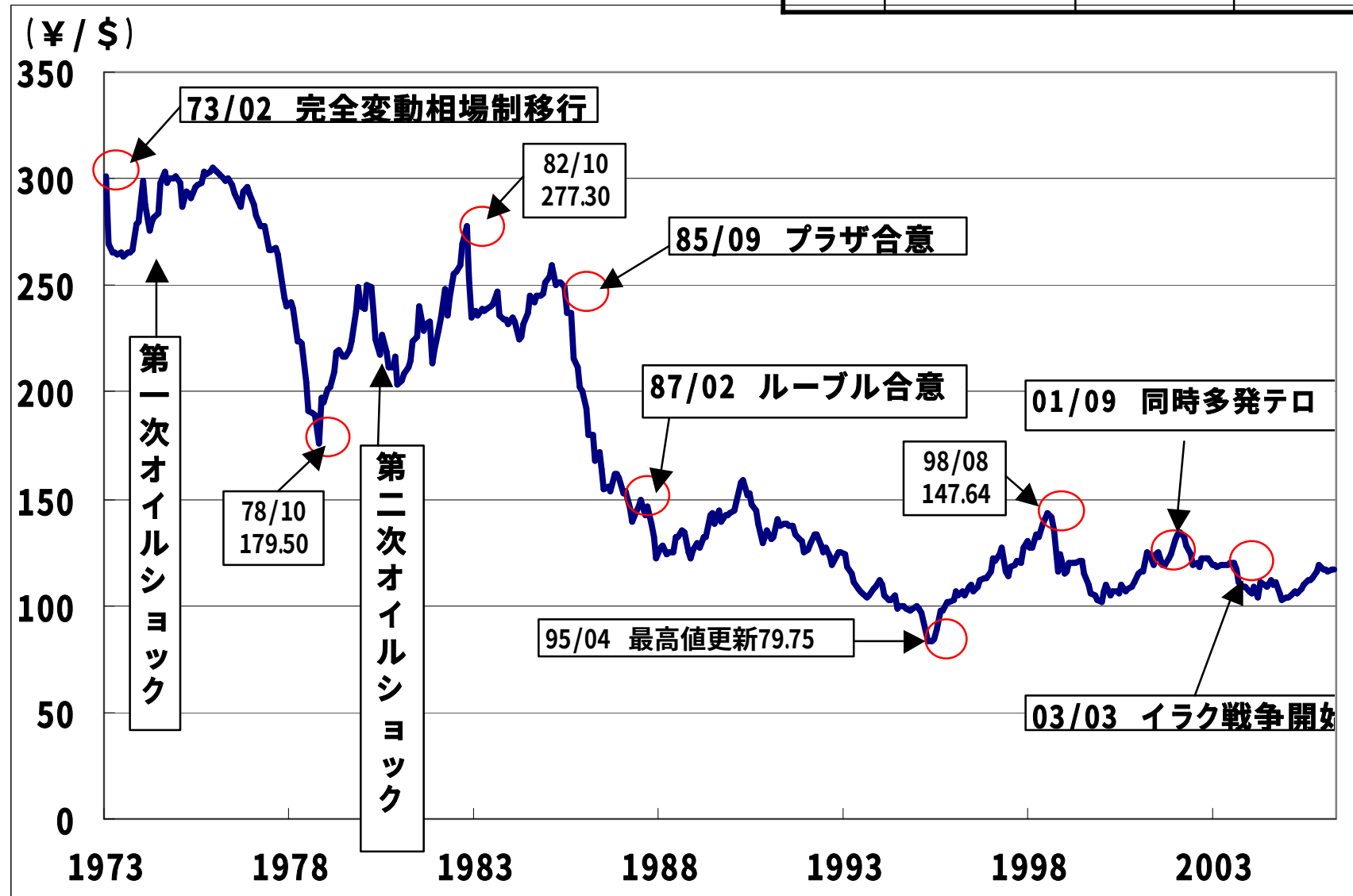
I -4 亜鉛価格・在庫推移 (Zinc LME Price, Stock)



	\$/t
FY04	1109.8
FY05	1287.2
FY06(業績 予想の前提) (Postulate)	2000.0

I -5 為替 (¥/\$) 相場推移

	FY04	FY05	FY06予想前提 (Postulate)
¥/\$	107.54	113.32	110.00



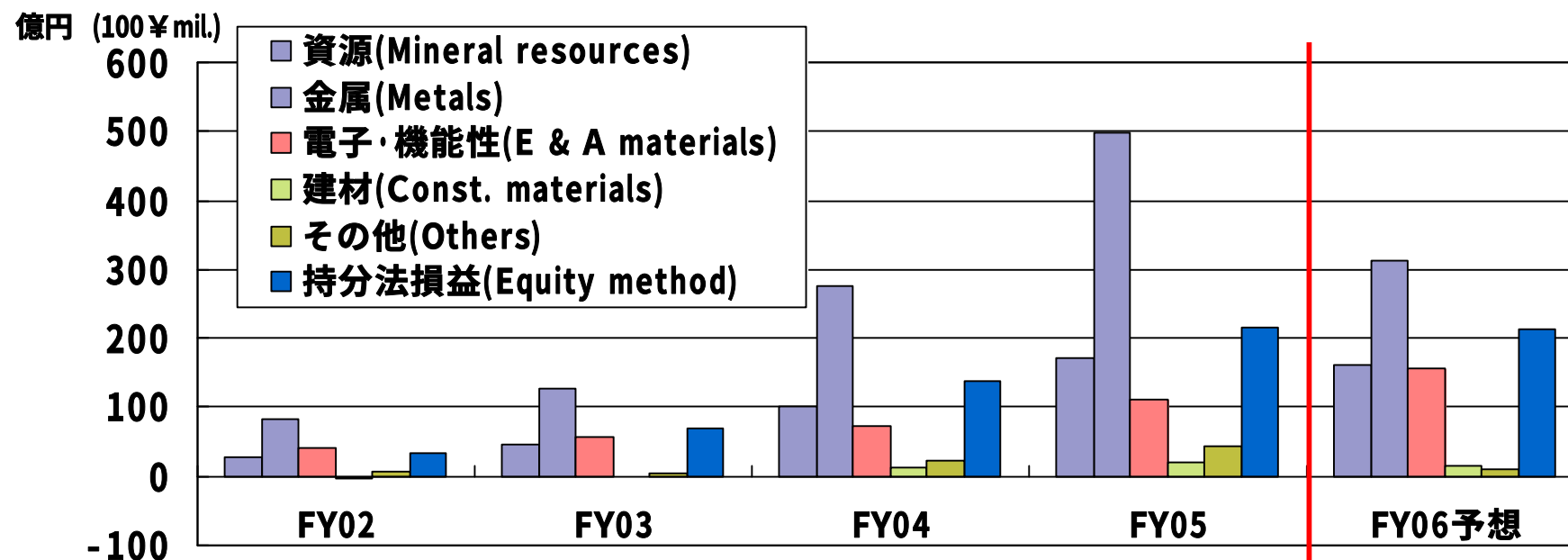
II. 業績推移

II-1. 連結業績推移

(億円)
(100Millions of JPY)

	FY03	FY04	FY05	FY06予想 Forecast	中計FY06 Mid Year Plan
売上高 Sales	4,021	4,846	6,256	6,200	4,800
営業利益 Operating Profit	228	479	828	650	330
経常利益 Recurring Profit	278	545	997	800	350
当期利益 Net Income	199	370	628	530	250
一株当り当期利益(JPY) Net Income / Share	34.76	64.77	109.96	92.91	
一株当り配当金額(JPY) Dividend / Share	6.00	8.00	14.00	14.00	
\ / \$	113.1	107.5	113.3	110.0	110.0
Copper (¢ /lb)	92.8	136.1	185.8	181.4	90.7
Nickel (\$/lb)	5.10	6.34	6.63	6.00	3.50
Gold (\$/Toz)	377.6	414.0	476.6	530.0	320.0
Zinc (\$/t)	899	1,110	1,614	2,000	950

II-2. 業績推移 (セグメント営業利益、持分法投資利益)



	FY2002	FY2003	FY2004	FY2005	FY2006予想
¥ / \$	122	113	108	113	110
Cu(¢ /lb)	69.2	92.8	136.1	185.8	181.4
Ni(\$/lb)	2.66	5.10	6.34	6.63	6.00
Au(\$/toz)	277.8	377.6	414.0	476.6	530.0
Zn(\$/t)	830	899	1110	1614	2000
TC/RC(90 ¢ /lb)	68/6.8	58/5.8	43/4.3	85/8.5	95/9.5

III. FY05 v s 04

III-1. 経常利益比較 (FY05vs04) ①

経常利益 + 4 5 2 億円 (997←545)

(Recurring Profit, 100 ¥ mil.)

1. 相場要因 + 3 5 9 億円

- 1) 在庫評価影響 + 1 0 4 億円 (FIFO + Price up)
先入先出法における、金属価格上昇の影響
- 2) 非鉄金属相場高 + 1 9 0 億円 (Higher price)
Cu +145、Ni +26、Au +19
- 3) 為替差 + 2 6 億円 (Weaker ¥)
+ 6 ¥/\$ (円安)
- 4) その他 + 3 9 億円 (T/C,R/C & others)
原料・販売条件で+23、デリバティブ評価損益+16

2. 物品費の高騰 △ 6 7 億円

エネルギー関係△52億円、薬品・鋼材他△15億円

(Increase of energy & other costs)

III-1. 経常利益比較 (FY05vs04) ②

3. 資源・金属プロジェクト効果 +55億円

銅増産、CBNC、セロベルデ・オホス権益取得による増益効果

(Fruits of strategies in Resource , Metals)

4. 資源・金属以外の事業の業績伸張 +97億円

1) 営業利益 +67 (Op. profit of oter segments)

① 電子機能性 +39 (2層メッキ基板、電池材料、パッケージ好転)

② 住建 +10 (シポレックス)

③ その他 +18 (NCC等)

2) 持分法損益 (海外鉱山等以外) +30

(Equity method (other than mines))

※ 海外鉱山等は「1. 相場要因」に計上。 持分法損益全体は、+84億円。

※(Equity method total)

5. その他 +8億円

(Others)

III-2. 05v s04 (セグメント営業利益)

(金額:億円)

資源 +71	SMM (単独) の売上総利益+27 (Au@upなど)、 アリゾナを中心とした海外鉱山会社+35 (金属@up－cost up)、 Pogo+8 (操業開始前の費用減) など
金属 +220	SMMの売上総利+224 Cu事業+261 (在庫評価影響+146、価格・条件差+59、数量・プレミアム差+43など) Ni事業△44 (在庫評価影響△42、価格・条件差+22、数量・プレミアム差△20など) その他+7
電子・機 能材+39	市場好調下で、2層めっき基板、電池材料、L/Fを中心に全体が伸び、生産拠点整備等による効率化も進めた。撤退を決定したSTFなどの悪化要因を吸収し、増益。
建材+9	シボレックス (ALC) の拡販、販売価格改善とコスト削減の進展。
その他 +19	使用済み触媒から回収するMo、Vの価格高騰により増益。

III-3. 財務体質の状況

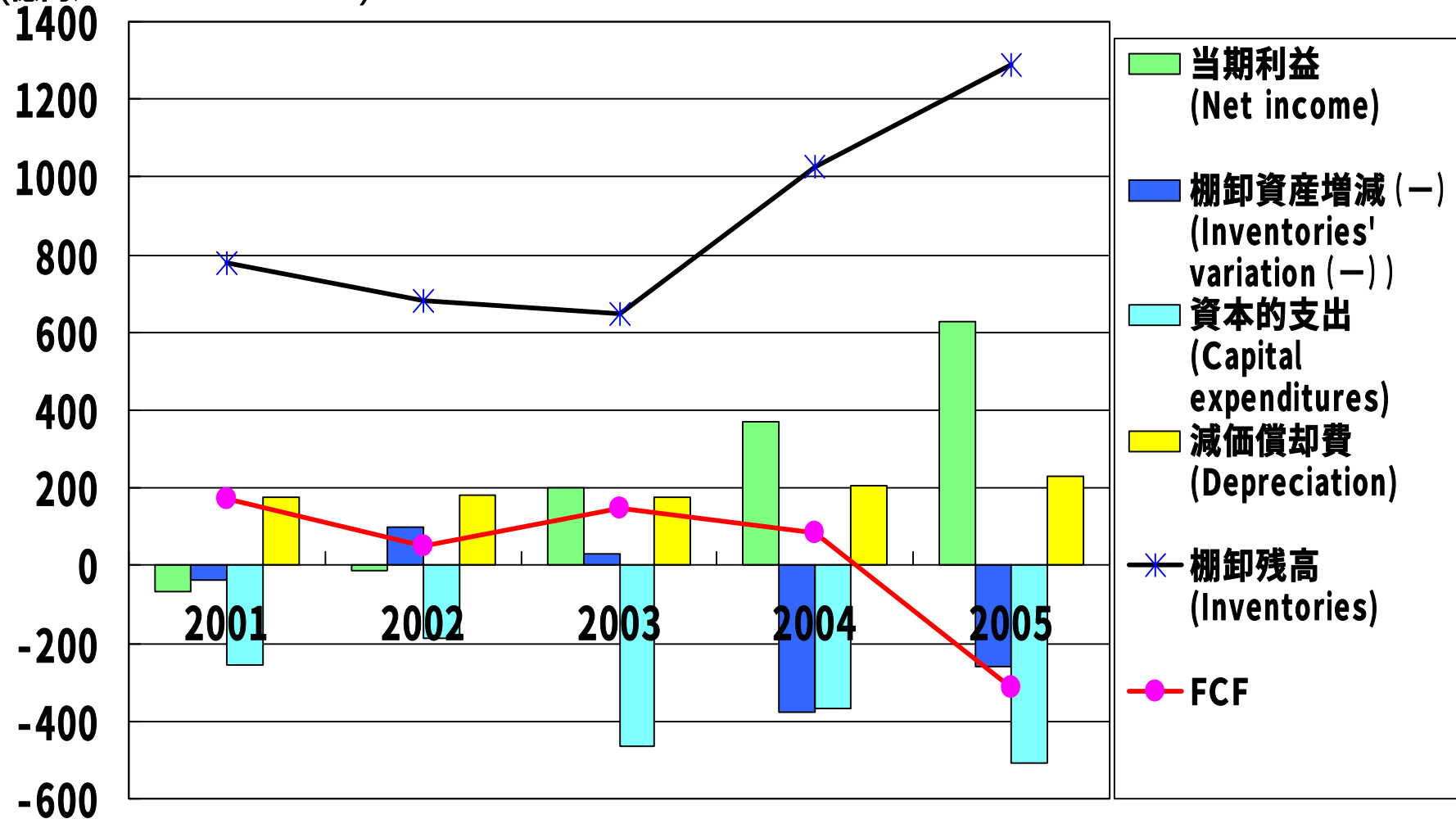
(億円、100Millions of JPY)

	FY2003	FY2004	FY2005	中計FY06 Mid Year Plan
総資産 Total assets	5,179	5,739	7,726	5,850
有利子負債 Interest-bearing debt	1,484	1,605	1,909	1,650
有利子負債比率(%) Interest-bearing debt ratio	28.6	28.0	24.7	≤30.0
株主資本比率(%) Shareholders' equity ratio	48.9	49.5	48.4	≥40.0
D/E ratio(times)	0.59	0.57	0.51	
棚卸資産 Inventories	650	1,028*	1,289*	

＊ 04→05の棚卸資産増加261億円は、当社(単独)金属での単価差による増加額301億円を含む。

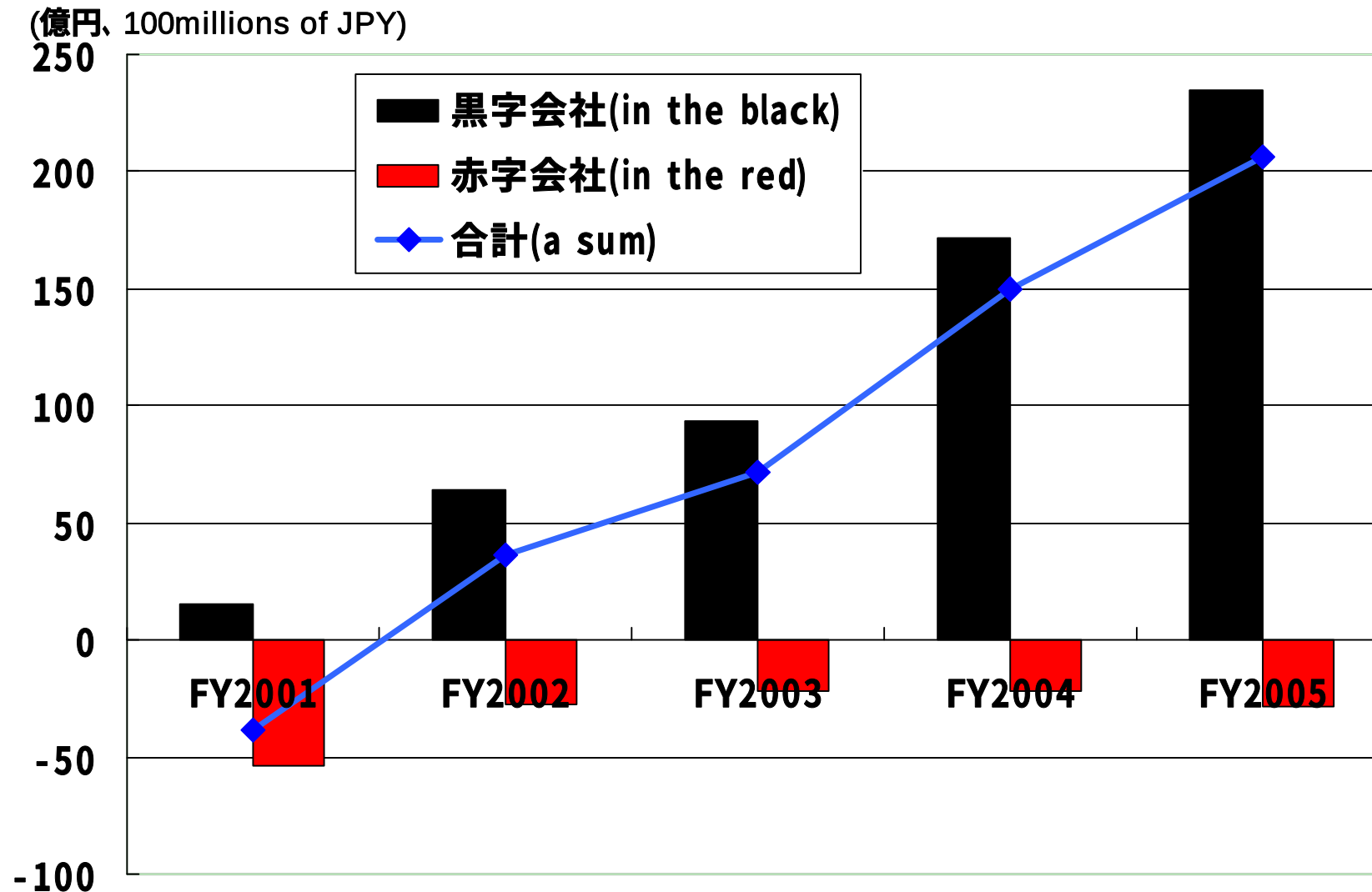
III-4. Cash Flow の状況

(億円、100millions of JPY)



III-5. 関係会社業績推移

(Performance of Subsidiaries)



関係会社数推移 (Feb. 2000 → Mar. 2006)

IV. 戰略進捗状況

IV-1. 資源・金属戦略 ①

1. 銅 (製錬能力増強による競争力強化と資源確保)

① 東予工場 (愛媛県) 300→450kt/Y (世界最大級)

② 金隆銅製錬所 (中国 SMM27%) 150→210 tk/Y

③ 銅資源確保 Cerro Verde銅鉱山 (ペルー) に参加

4鉱山 2 mil.t → 5鉱山 3 mil.t

自山鉱比率 4割→2／3への目処が立った

2006年10-12月期に操業開始 (the Best Timing!!)

④ 今後は、じっくり、探鉱から資源確保に取り組む

東予工場 (銅 製錬工場 愛媛県) (Toyo plant Ehime JPN)



2003年度 (本中期経営計画策定時)
300 kt/Y体制



2005年官休 (5/15～6/19) で増強
→ 365 kt/Y体制



2006年度 410 kt/Y体制
2007年度以降 450 kt/Y体制

※総投資額: 約280億円

Cerro Verde銅鉍山 (Peru)

2005年3月、Phelps Dodge社と本契約締結

住友の権益21% (うちSMM16.8%)



硫化鉍開発プロジェクト

総投資額 850US\$ mil.
(日本側投資額265 US\$ mil.)

生産量 180kt/Y (Cu量換算)

銅精鉍引取り権

当初10年間: 生産量×50% (90kt / Y (Cu))

生産開始予定 2006年10-12月期

東予製錬所450Kt体制確立時における
自山鉍比率2/3の確保に目処が付いた。

IV-1. 資源・金属戦略 ②

2. ニッケル(資源確保と規模拡大)

①ニッケル工場 (愛媛県 電気ニッケル)

日本で唯一の電気ニッケル (純ニッケル) 生産者

②(株)日向製錬所 (宮崎県 フェロニッケル)

③電気ニッケルの原料確保

Coral Bayプロジェクト (フィリピン) 成功

HPAL技術で低品位酸化鉱を活用

世界のニッケル業界が変わる

同プロジェクトの拡張 (10→20kt/Y) 決定

次のHPALプロジェクトを探索中

④Goroニッケルプロジェクト (ニューカレドニア) 参加

⑤保有資源 (Ni) 量 2ヶ所0.8 mil.t→4ヶ所1.5 mil.t

⑥探鉱を実施中

Coral Bay ニッケルプロジェクト (Philippines)

豊富な低品位酸化鉱からのニッケル回収に成功。
SMM権益54%



総投資額 180US\$ mil.

生産能力 10kt/Y

2005年4月 商業生産開始

2005年11月 設計能力での生産を達成



《今後》

2006年 10kt/Yの生産

能力2倍化を決定 (09年4月操業)

Coral Bayに続く新規プロジェクトへの展開

Goroニッケルプロジェクト (New Caledonia)

2005年4月、Inco社と本契約締結

日本側権益 21%⇒SMM 11%、三井物産 10%



総投資額 1,878US\$ mil.

生産量 約60kt/Y
(巨大プロジェクト)

生産開始予定 2007年10-12月期

IV-1. 資源・金属戦略 ③

3. 金 (新たな鉱山の開発)

1) 菱刈鉱山 (鹿児島県)

日本最大 (累計産金量152t、埋蔵金量152t (05年末現在))
超高品位 (30.4g/t: 世界の平均値は5g/t以下)
7.5t/Yで操業中
さらに探鉱中

2) Pogo鉱山 (米国Alaska、51%)

2006年2月操業開始
海外で初のメジャーポーションを持つ鉱山
平均12t/Y×10年間の生産を予定
高品位 (18.3g/t)
さらに周辺探鉱中

Pogo金鉱山開発プロジェクト (米国アラスカ)

SMM権益51%



開発投資額 357US\$ mil.

推定埋蔵金量 152t

操業開始 2006年2月

修正計画に対し2ヶ月前倒し

生産量 12t/Y (Mine Life中平均)



《今後》

**尾鉱フィルタープレス処理能力追加
(07年1-3月) まで操業度50～60%**

周辺の探鉱

Pogoに続く新規プロジェクトの開発

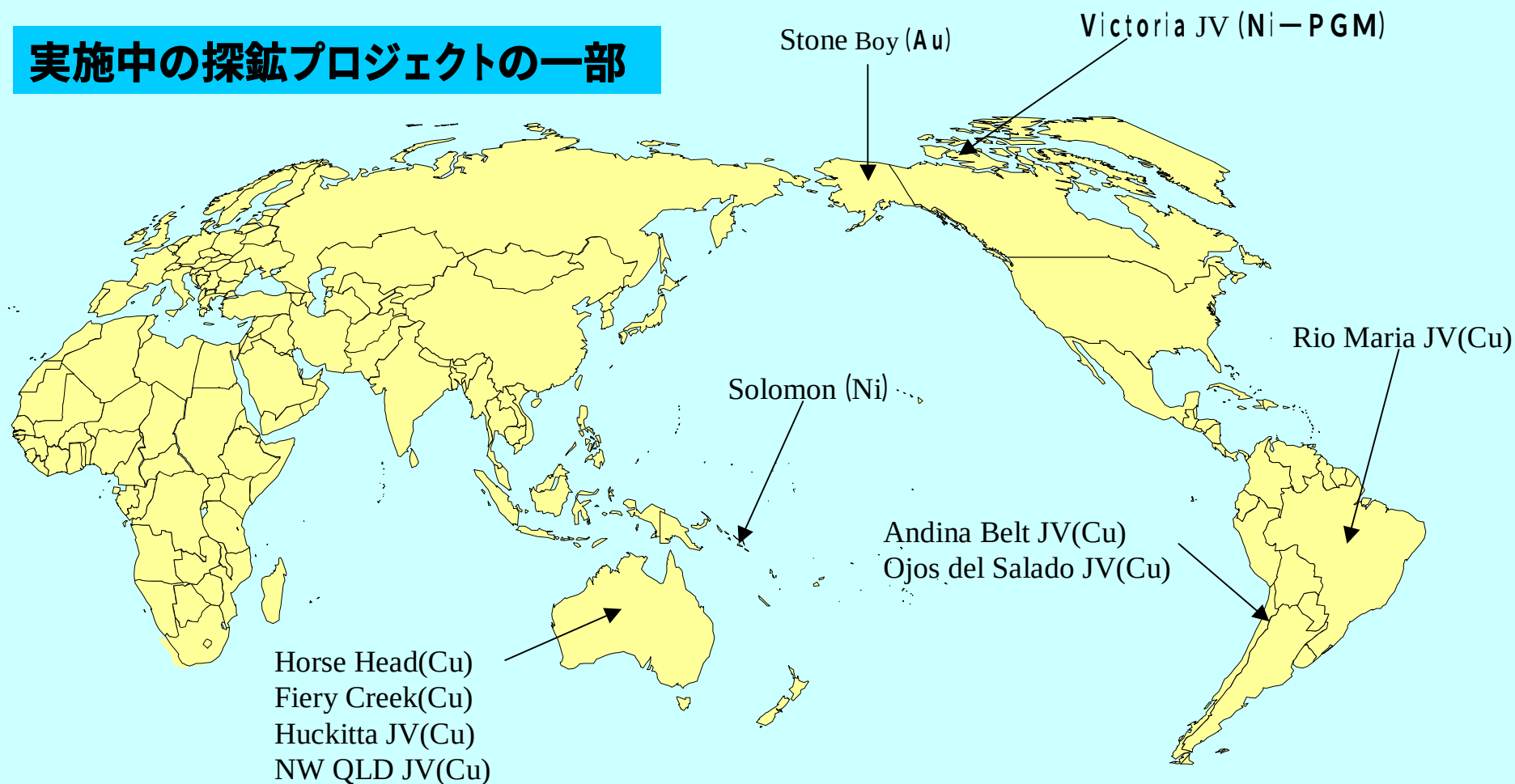
菱刈鉾山 (鹿児島県)



IV-1. 資源・金属戦略 ④

4. **さらなる資源確保へ** (探鉱費10→20億円/年)

実施中の探鉱プロジェクトの一部



IV-2. 電子材料・機能性材料戦略 ①



IV-2. 電子材料・機能性材料戦略 ②

- 1. 2層メッキ基板、新しい電池材料、薄膜材料、パッケージング材料など、高いシェアの取れるものに注力。**
- 2. FY05、初めて営業利益100億円を超えた。**

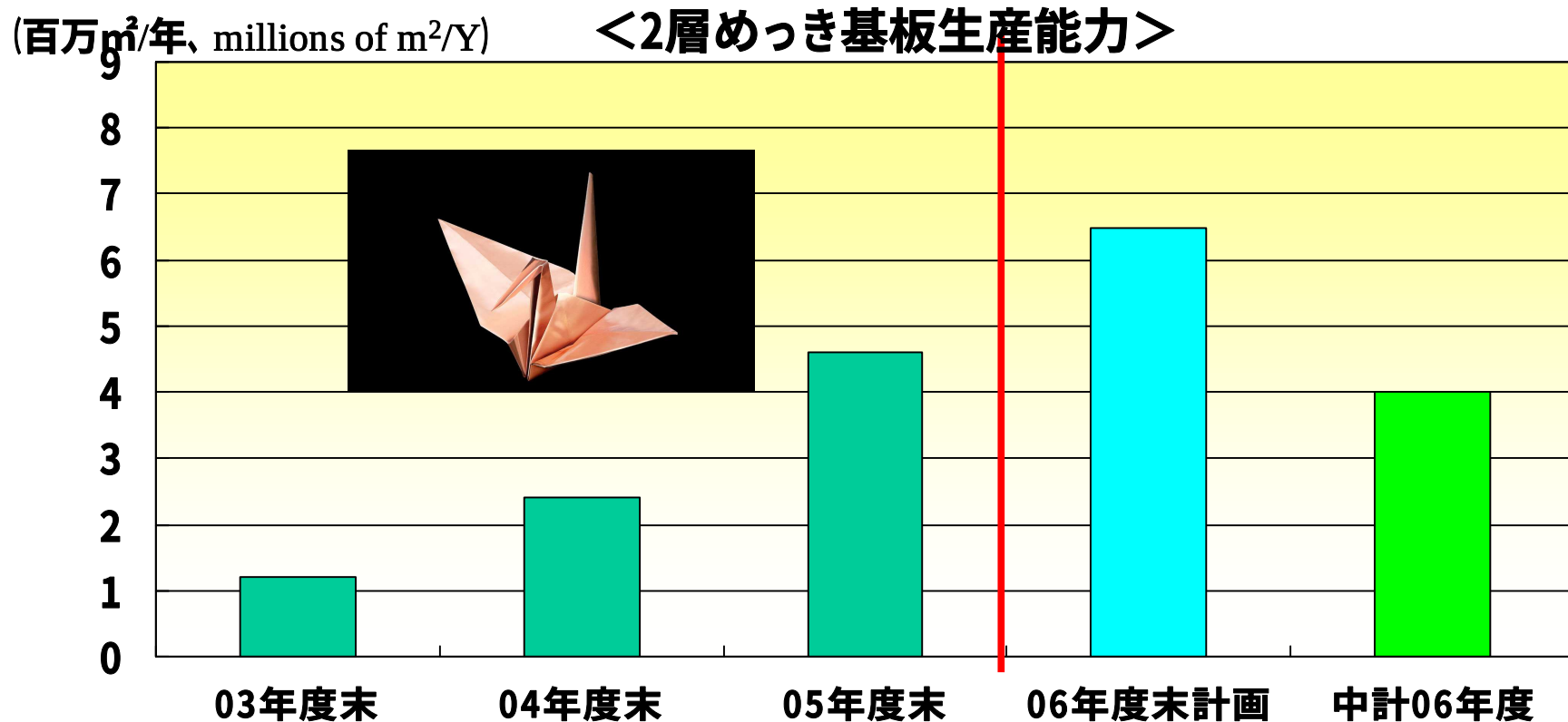
IV-2. 電子材料・機能性材料戦略 ③

2層メッキ基板 (Copper clad polyimide)

大型LCD市場の急拡大 × COF (Chip on Film) 化率の急上昇

当社材がデファクトスタンダード → 高シェア保持

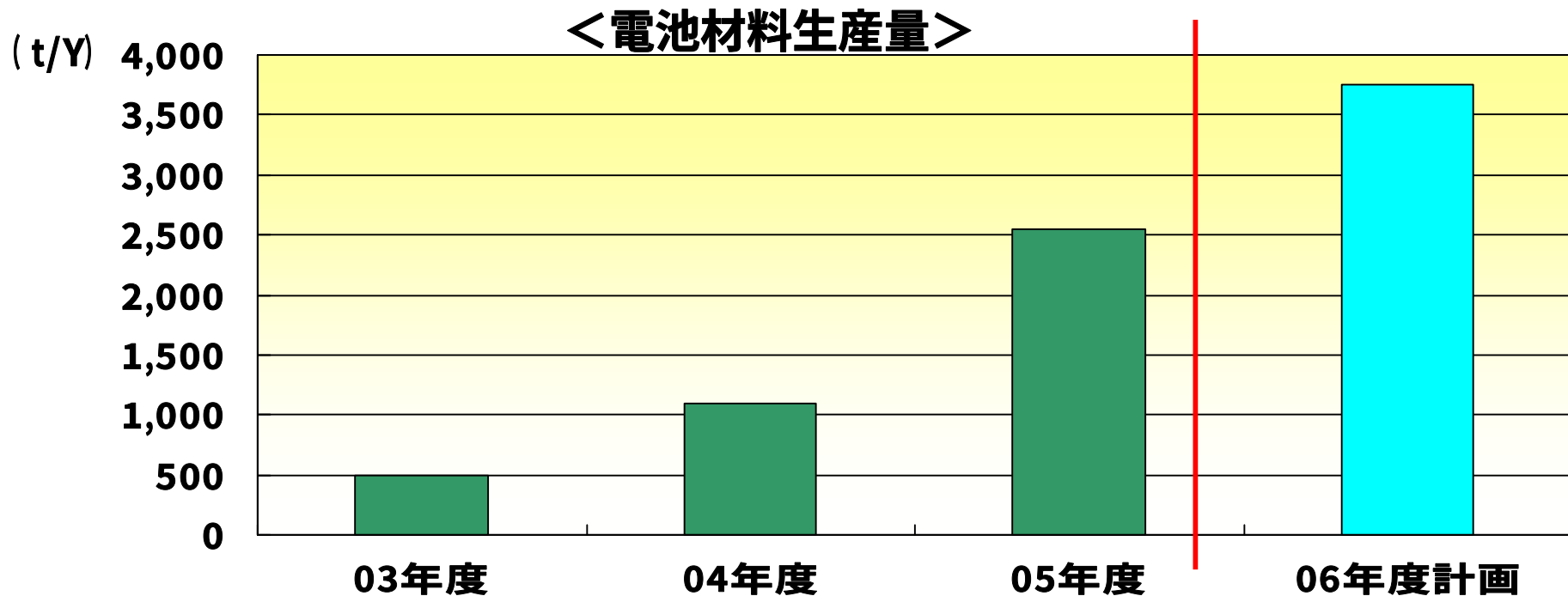
(ファインピッチ化対応・平滑性・折り曲げ易さ・透明性等)



IV-2. 電子材料・機能性材料戦略 ④

電池材料 (Cathode materials for batteries)

トヨタ自動車のハイブリッドカー向けを、ほぼ独占
次世代材料も開発
強力な新型乾電池用材料も供給
ニッケル鉬石から一貫生産



IV-2. 電子材料・機能性材料戦略 ⑤

ペースト

新しい用途への展開

薄膜材料

出光興産(株)とのJoint Venture設立。

FPD用の透明電極材料としてIZO製造・販売への参入。

パッケージング材料

リードフレーム・ボンディングワイヤー

シェア拡大のため、顧客の近く・低コスト生産拠点としての中国展開。

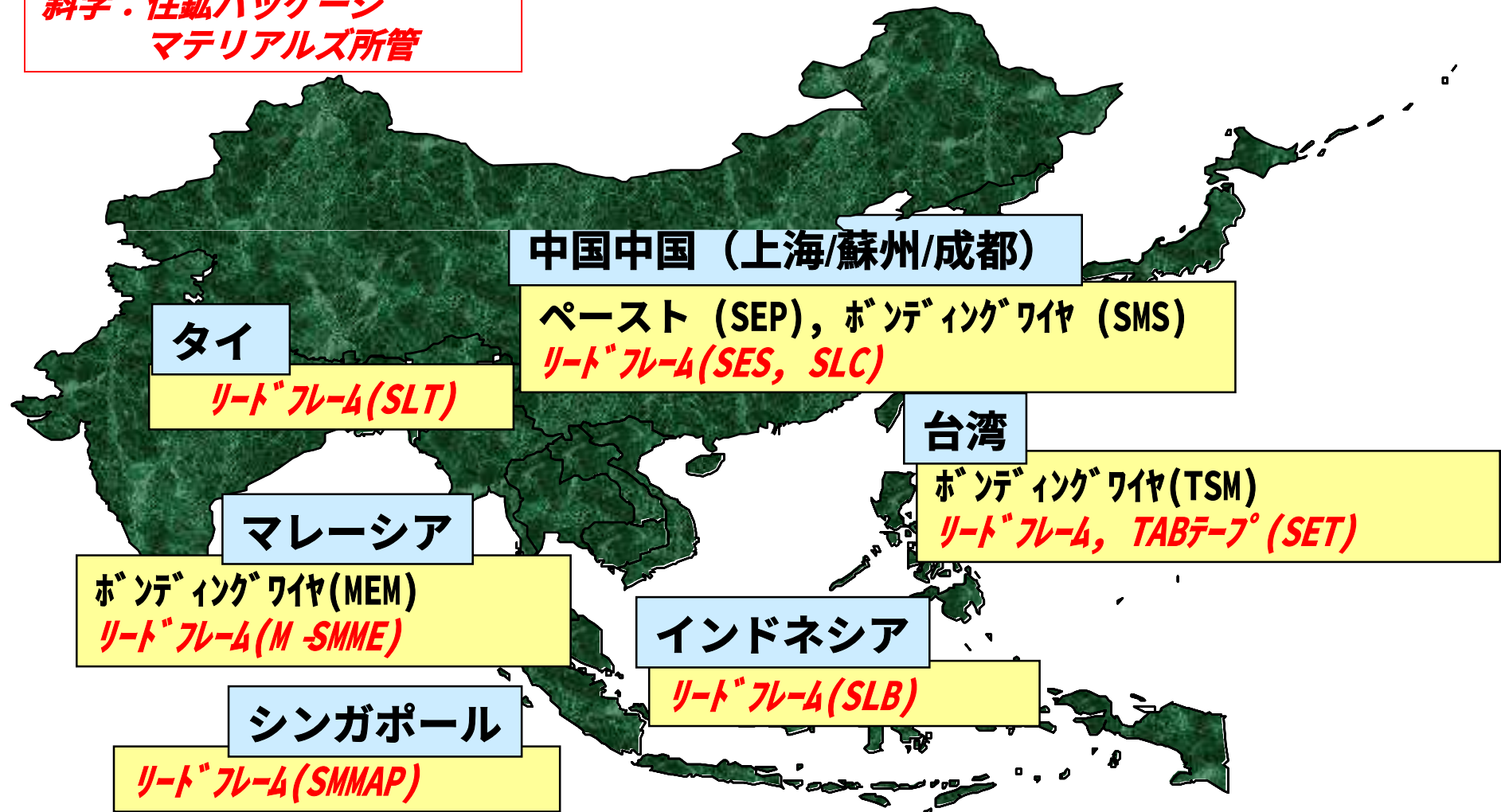
テープ

リードフレーム事業における台湾市場での実績→台湾市場中心に展開。

市場の急拡大に対応して生産能力を拡大。

IV-2. ⑥ 電子材料の海外展開

斜字：住鋁パッケージ
マテリアルズ所管



IV-3 FY05の戦略決定

- ・ **Ojos del Salado銅鉱山 (Chile) 権益取得
(探鉱プロジェクトを含む)**
- ・ **東予工場基盤整備**
- ・ **CBNC2系列化 (Philippines)**
- ・ **日向製錬所5号炉更新**
- ・ **2層めっき基板増強**
- ・ **電池材料事業強化**
- ・ **台湾でのCOF事業拡大 (Taiwan)**
- ・ **テレビフレーム事業からの撤退 (USA、Singapore)**

V. FS06予想 vs. 05

V-1. FY06連結業績予想 (II-1再掲)

(億円)
(100Millions of JPY)

	FY03	FY04	FY05	FY06予想 Forecast	06-05
売上高 Sales	4,021	4,846	6,256	6,200	-56
営業利益 Operating Profit	228	479	828	650	-178
経常利益 Recurring Profit	278	545	997	800	-197
当期利益 Net Income	199	370	628	530	-98
一株当り当期利益(JPY) Net Income / Share	34.76	64.77	109.96	92.91	-17.05
一株当り配当金額(JPY) Dividend / Share	6.00	8.00	14.00	14.00	-
\ / \$	113.1	107.5	113.3	110.0	-3.3
Copper (¢ /lb)	92.8	136.1	185.8	181.4	-4.4
Nickel (\$/lb)	5.10	6.34	6.63	6.00	-0.63
Gold (\$/Toz)	377.6	414.0	476.6	530.0	+53.4
Zinc (\$/t)	899	1,110	1,614	2,000	+386

V-2. 経常利益比較 (FY06予想vs05)

経常利益 $\triangle 197$ 億円 (800←997) (Recurring Profit, 100 ¥ mil.)

1. 相場要因 $\triangle 256$ 億円

1) 在庫評価影響 $\triangle 253$ 億円 (FIFO + Price down)

先入先出法における、金属価格低下の影響

2) 非鉄金属価格差 $\triangle 10$ 億円 (Price)

Cu +17、Ni $\triangle 41$ 、Au +14

トレンド変化は大だが、年間平均値は大きな差なし

3) 為替差 $\triangle 17$ 億円 $\triangle 3$ ¥ / \$ (円高) (Stronger ¥)

4) 原料販売条件差 $+24$ 億円

おもに銅原料条件改善 (T/C,R/C & other conditions and terms)

2. 資源・金属プロジェクト効果 $+ 110$ 億円

銅、CBNC、セロベルデ・オホス、ポゴによる増益効果。

(それぞれ増産に加え、Pogo生産開始) (Fruits of strategies in Resource , Metals)

3. その他 $\triangle 51$ 億円 (NCC 減益 (Mo,V @down) など) (Others)

※ 上記1～3のうち、持分法投資利益は $\triangle 5$ 億円 (213←217) (Equity method)

同、減価償却費増の影響は $\triangle 60$ (290←230) (Depreciation)

V-3. 06 vs 05 (セグメント営業利益)

<06←05 営業利益増減>

(億円)

資源 △11	SMM (単独) の売上総利益 (Au@upなど) +4、 鉱山調査費増△5 エネルギーコストup等△10
金属 △184	SMMの売上総利益減△223 Cu事業△186 (在庫評価影響△238、価格・条件差+42など) Ni事業△33 (価格・条件差△26、数量・プレミアム差+15、在庫評価影響△15など) その他△4 その他 (プロジェクト効果、販管費増等) +39
電子・ 機能材 +43	市場好調。撤退を決定したSTF等ごく一部を除き、L/F、2層めっき基板、電池材料など、全体が増益。 初のセグメント営業利益150億円超を目指す。
建材 △5	シポレックス (ALC) の売上高は同水準だが、コスト増。
その他 △32	使用済み触媒からのMo、V回収で、価格ダウンにより△19など。

V-4. 価格等 sensitivity

(億円, 100 ¥ million)

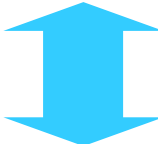
		FY2005	FY2006
Cu	+10 ¢ /lb	21／30	25／35
Ni	+10 ¢ /lb	6／8	6／8
Au	+30\$/toz	8／8	11／11
¥/\$	+1 ¥/\$ (円安)	5／5	5.5／5.5

「営業利益／経常利益」 (Operating profit / Recurring profit)

V-5. 06予想vs03中計

(FY06 forecast vs. 3-year plan)

戦略を実現しつつある

06予想経常利益	800億円
前提を修正	
価格、為替 (含在庫評価影響)	△545
資材単価等up	+112
修正後06予想	367億円
	
03中計経常利益 (FY06)	350億円

VI. その他

VI. 新「会社法」に対応して

- **当社の機関設計**
- **子会社の機関設計**
(グループのコーポレートガバナンス)
- **定款変更**

ご注意

本資料は、証券取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。